

使っている花 ■ スズラン(根付き)、
アップルミント、モス



4月
April



スズラン

花言葉 幸福の再来／純粹

フランス語ではmuguet (ミュゲ)
清楚な香りが幸せをはこぶ可憐な鈴

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 花に張りがあり、葉がしっかりした香りが強い新鮮なものを選びましょう。
- 残念ながらあまり日持ちはしませんが、切り花栄養剤を使用すると少し長く楽しめます。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 根付きのスズランを、根付きのまま(画像右)と、根をカットした状態(画像左)の2パターンでいけます。
- ② (画像右)スズランの根はヒゲのように長く多量なので、3cmほどにカットします。水を浅く張った器にそれぞれの根で支えあうようにスズランを立て、まわりをモスで埋めます。小さくカットしたミントを足元にあしらいます。
- ③ (画像左)切り花栄養剤を正しく希釈した水を、ラベルがかわいいジャムの瓶など小さな器に入れます。根の部分のカットしたスズランとミントの葉をあしらいます。

幸福が訪れる清らかな香り

5月1日はフランスの伝統行事「スズランの日(Jour de muguet)」。

愛する人や親しい人にスズランを贈る習慣で、贈った人にも贈られた人にも幸運が訪れるそう。「聖なる香り」「聖母マリアの涙」と喩えられ、欧州では花嫁に贈る花として大切にされています。気品あふれる香りは三大フローラルノート。主産地は雪国の北海道と長野県。

